

第四次総合計画（後期基本計画）の実績評価のまとめ

1. 教育・文化

【全体の評価】

■ 単位施策の達成状況について

A：達成	B：ほぼ達成	C：実施中	D：未実施
33	5	1	0

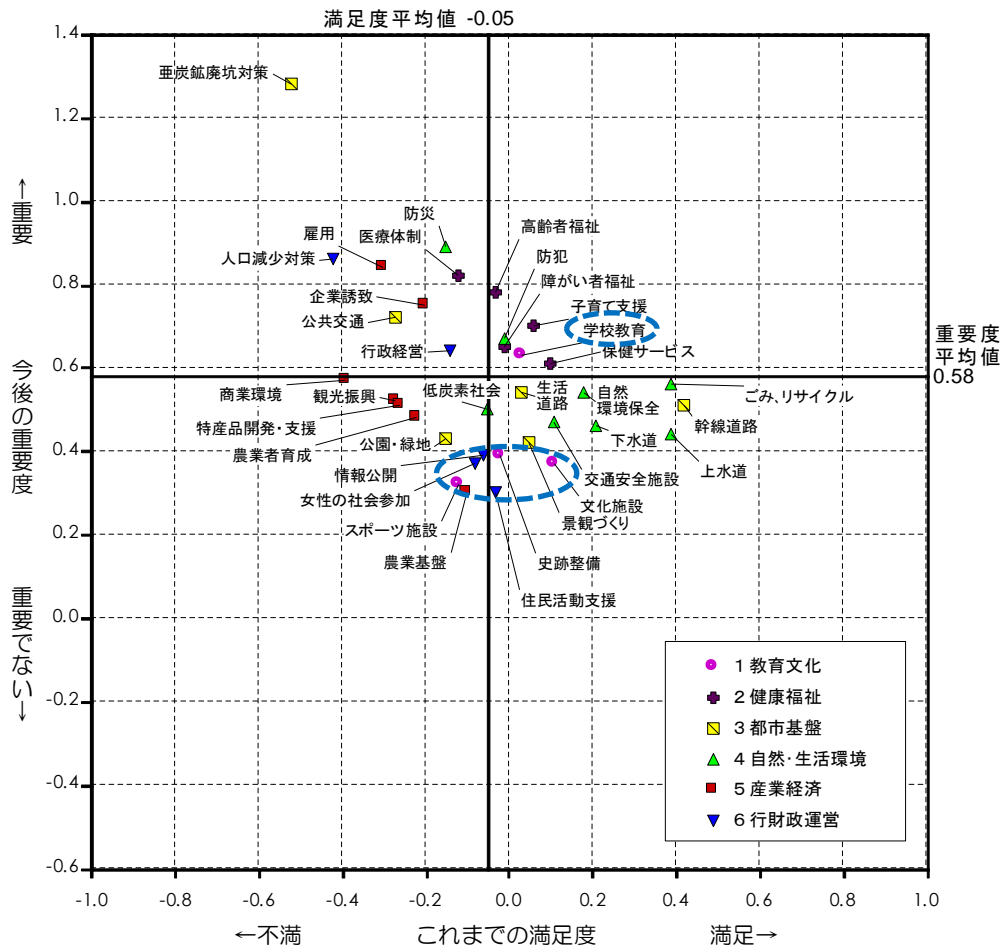
- 大半がA評価であり、達成されたという施策が多い。B評価となったものは、指導者・ボランティアの育成（1－3生涯学習）、1－5社会体育において指導者の育成支援、スポーツ組織の充実などである。C評価となったものは、学校施設の整備・充実（1－1学校教育）である。
- A評価については、継続するという施策が多い。今後の課題としては施策の内容を充実・変更することや、学校と地域、家庭が連携して協働により施策を進めるなど、推進のための手法が課題であると考えられる。

■ 住民アンケート調査結果

満足度（満足＋やや満足）	
・学校教育（施設含む）の充実	14.5%
・文化施設の整備	24.5%
・スポーツ施設の整備	11.5%
・中山道をはじめとする史跡などの整備	11.0%
住民の活動（積極的に取り組んでいる＋取り組んでいる）	
・学校・子どもの見守り	32.4%
・生涯学習・文化継承の活動	16.9%

- 住民アンケート調査結果では、満足度では文化施設の整備が24.5%と比較的高い。
- 満足度と重要度の評点分布（施策全体の中）では、学校教育の充実の満足度と重要度が比較的高く、文化施設整備、スポーツ施設整備、中山道をはじめとする史跡などの整備は、重要度が低くなっている。（評点による満足度と重要度参照）
- 住民の活動としては、学校・子どもの見守りに取り組んでいるのが32.4%と高くなっている。

図表 評点による満足度と重要度（全体の評価と教育・文化）



分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
1	13 スポーツ施設の整備	-0.12	0.32
	14 文化施設の整備	0.11	0.37
	15 学校教育の充実	0.03	0.63
	34 中山道をはじめとする史跡などの整備	-0.02	0.39
2	16 子育て支援の充実	0.06	0.70
	17 障がい者福祉の充実	-0.01	0.65
	18 高齢者福祉の充実	-0.03	0.78
	19 保健サービスの充実	0.10	0.61
3	20 医療体制の充実	-0.12	0.82
	1 幹線道路の整備	0.42	0.51
	2 生活道路の整備	0.03	0.54
	4 公共交通機関の充実	-0.27	0.72
	11 美しい景観づくりの推進	0.05	0.42
	12 公園や緑地の整備	-0.15	0.43
4	32 亜炭鉱廃坑への対策	-0.52	1.28
	3 交通安全施設の整備	0.11	0.47
	5 防災に対する体制強化	-0.15	0.89
	6 上水道の整備	0.39	0.44
	7 下水道の整備	0.21	0.46
	8 ごみ減量、リサイクルへの取り組み	0.39	0.56
	9 防犯体制の整備	-0.01	0.67
10 自然環境の保全	0.18	0.54	
33 低炭素社会への取り組み	-0.05	0.50	

分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
5	21 農業基盤の整備	-0.10	0.30
	22 農業者の育成	-0.22	0.48
	23 商業環境の整備	-0.39	0.57
	24 企業の誘致	-0.20	0.75
	25 雇用の確保	-0.30	0.84
	26 観光の振興	-0.27	0.52
6	31 特産品の開発及び支援	-0.26	0.51
	27 情報公開	-0.06	0.39
	28 住民が主体となる活動の支援	-0.03	0.30
	29 女性の社会参加の促進	-0.08	0.37
	30 人口減少への対策	-0.42	0.86
35 効率的な行政経営	-0.14	0.64	

■基本施策ごとの状況

【1-1 学校教育】

施策	単位施策
(1)教育内容の充実	①基礎基本の着実な定着【A】 ②心の教育の充実【A】 ③社会の要請に対応した教育の推進【A】 ④地域資源を生かした学習内容の充実【A】 ⑤教職員の資質・指導力の向上【A】
(2)開かれた学校づくり	①開かれた学校運営の推進【A】 ②地域の教育力の活用【A】 ③学校安全の確保【A】 ④学校施設の有効活用【A】
(3)幼保・小中一貫教育の推進	①幼保・小中一貫教育の推進【A】
(4)学校施設設備の整備・充実	①学校施設設備の整備・充実と適正管理【C】

- 大半の単位施策がA評価であり、かつ、施策の効果を高めるためには、今後も継続することが重要とした方針が多い。
- (4)①学校施設の整備・充実と適正管理についてはC評価であり、劣化が著しいため、大規模改修等が必要である。
- (1)②心の教育の充実では、小中学生のボランティア意識の向上が課題である。(2)①開かれた学校運営の推進では、学校運営協議会の設置を視野に入れていく必要がある。
- (1)④地域資源を生かした学習内容の充実や、(2)開かれた学校づくりにおいては、学校と地域・家庭の連携が今後も求められ、そのための協働による取組みの拡大が課題である。

<協働の実績等>

- ふるさとふれあい夢づくり事業において、地域の協力を得て環境学習、職場体験学習、お茶づくりなどを実施していること、地域へのボランティア活動への参加（中学生アンケートにおいても）が見られることから、地域との役割分担や連携を充実することが可能であると考えられる。

【1-2 学校給食】

施策	単位施策
(1)給食施設の整備と有効な運営	①ドライシステム転換への施設、設備の整備促進【A】

	②給食残さの減量化【A】 ③地産地消の推進【A】 ④アレルギー対応食の提供【A】 ⑤民間委託の推進【A】
(2)食育の推進	①食に関する指導【A】 ②家庭における食生活改善への働きかけ【A】

○(1)給食施設の整備と有効な運営、(2)食育の推進の施策が全てA評価であり、かつ、今後も継続するという方針が多い。

○(1)②給食残さの減量化では、生ごみ処理機の更新の検討、(1)③地産地消の推進では、地元生産者との調整を継続的に進めること、(2)①家庭における食生活改善への働きかけでは保護者を対象にした給食試食会の開催などを工夫して、食育の推進のために地域や家庭との一層の連携を図ることが必要である。

<協働の実績等>

○地元の農業者の協力を得て、給食食材の地産地消を推進しており、農業振興の観点からも今後の取組みを充実することが必要と考えられる。

【1-3 生涯学習】

施策	単位施策
(1)学習活動の充実	①公民館活動の活性化【A】 ②指導者・ボランティアの育成【B】 ③学習成果の活用【A】 ④世代間の交流【A】
(2)家庭教育の充実	①家庭教育学級の充実【A】 ②一家庭一実践の推進【A】 ③学校・地域・家庭の連携【A】
(3)青少年の健全育成	①子ども会の育成【A】 ②青少年団体の育成【A】 ③青少年育成町民会議の充実【A】

○A評価と今後も継続する方針の施策が大半であるが、(1)②指導者の育成・ボランティアの育成はB評価であり、公民館における地域ぐるみの交流や講座のさらなる充実、指導者の育成が課題である。特に本町では、公民館活動が生涯学習で大きな役割を担っており、自治会などの地縁組織やNPOなどの新たな組織と連携した地域活動に結び付く展開を模索する必要がある。

○(2)家庭教育の充実については、(2)①家庭教育学級を継続的に進めることや、(2)③学校・地域・家庭の連携のために、子育てサロンなどの充実が必要である。(3)青少年

の健全育成については、(3)①子ども会への参加促進のための保護者の啓発や、(3)②青少年団体の育成のために育成活動の充実、JLC（ジュニア・リーダーズ・クラブ）の活動の周知と活性化などが課題である。

<協働の実績等>

○公民館役員等が中心となって、御嵩公民館の田んぼの学校や、中公民館の野菜塾などを開催して地域住民のつながりをつくることができた。今後もコミュニティ形成の観点からも、協働による公民館活動の運営が必要である。

【1-4 歴史・文化】

施策	単位施策
(1)歴史文化遺産の保存と継承	①文化財の保存・継承【A】 ②歴史的遺産に対する愛護意識の高揚【A】 ③伝統行事の継承【A】
(2)文化活動の支援	①文化活動団体の育成と支援【A】
(3)文化施設の充実	①中山道みたけ館の有効活用【A】 ②文化的活動拠点の整備【A】

○単位施策は全てA評価であり、今後も継続的な取り組みが必要である。

○課題としては、(1)②歴史的遺産に対する愛護意識の高揚では、歴史の道「中山道」の史跡指定を目指して住民の機運を盛り上げて関係機関に働きかけることや、(2)①文化活動団体の育成と支援については、文化協会の支援の継続とともに、協会の組織運営や活動のあり方を検討することが課題である。(3)①中山道みたけ館の有効活用では、同館に子育て支援コーナーを設けたが施設の老朽化対策や住民ニーズを踏まえた展示内容等の充実、そのための指定管理者制度の導入などが課題である。

<協働の実績等>

○中山道みたけ館、竹屋資料館の展示や、お茶会、中山道往来の催しなどに文化協会、各種サークル、茶華道連携、偲歴会等が協力しており、これらの団体による主体的な活動を一層引き出すことが課題である。

【1-5 社会体育】

施策	単位施策
(1)活動内容の充実	①みたけ・スポーツ文化倶楽部の自立支援【A】 ②指導者の育成支援【B】
(2)スポーツ組織の充実	①スポーツ関係団体活動の充実【B】

(3)スポーツ施設の充実	①スポーツ施設・設備の充実【B】 ②施設の効率的な利用の推進【B】
--------------	--------------------------------------

- (1)①みたけスポーツ・文化倶楽部の自立支援は、同団体の一般社団法人化を進めたことなどによりA評価である。これ以外の単位施策はB評価である。
- (1)②指導者の育成支援については、指導者の育成支援を継続する必要がある。
- (2)①スポーツ関係団体活動の充実では、総合型倶楽部とスポーツ少年団の融合により効果的・自立的運営を図ることが課題である。(3)①スポーツ施設・設備の充実の
では、B&G海洋センターの老朽化が著しいことの対策などが課題である。

<協働の実績等>

- 総合型倶楽部の組織体制の強化により、町民にスポーツの機会を増やすことができ、また、倶楽部と協働で教室を開催するなど、スポーツ施設の利用者が増加するなどスポーツの普及に効果が上がった。

2. 健康・福祉

【全体の評価】

■ 単位施策の達成状況について

A：達成	B：ほぼ達成	C：実施中	D：未実施
42	7	8	0

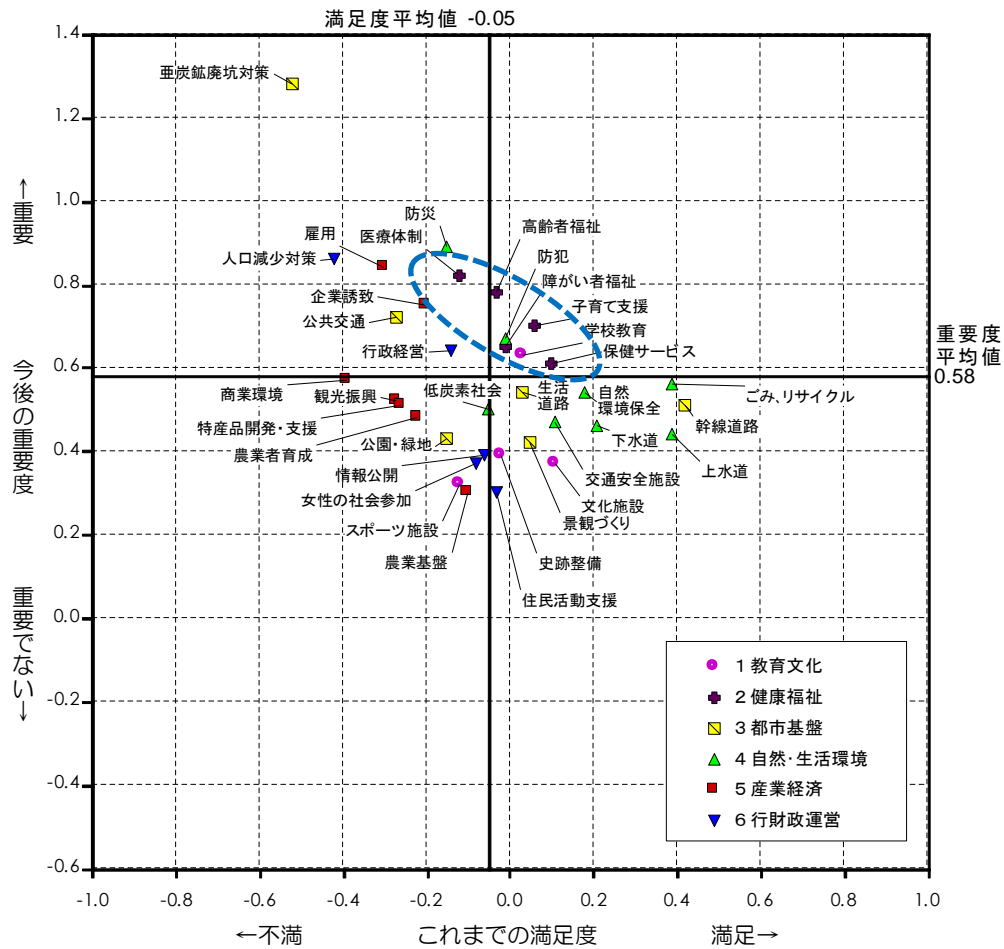
- 2－7 社会保障を除いて A 評価が多く、全体的に施策を実施中であり継続するものが多い。
- 今後ますます進む少子高齢化の中では、健康づくりの施策を積み重ねることや、地域包括支援センターによる事業の充実や、地域における福祉活動を盛んにすることが課題であり、地域における主体的な活動やボランティアの育成が必要な分野である。

■ 住民アンケート調査結果（平成 26 年 9 月）より

満足度（満足＋やや満足）	
・ 保健サービスの充実	17.2%
・ 医療体制の充実	11.3%
・ 子育て支援の充実	15.4%
・ 高齢者福祉の充実	13.6%
・ 障がい者福祉の充実	12.2%
住民の活動（積極的に取り組んでいる＋取り組んでいる）	
・ 健康増進	50.5%
・ 子育て期の家族の手助け	22.2%
・ 高齢者・障がい者の手助け	29.1%

- 住民アンケート調査結果では、保健サービスの充実と子育て支援の充実の満足度が 15% を超えて比較的高くなっている。
- 満足度と重要度の評点分布（施策全体の中）では、全施策の中で健康・福祉の項目は重要度が比較的高くなっている。特に医療体制については重要度が高く満足度が低くなっている。（評点による満足度と重要度参照）
- 住民の活動としては、健康増進については回答者の 50% 以上が取り組むというように非常に高い。

図表 評点による満足度と重要度（全体の評価と健康・福祉）



分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
1	13 スポーツ施設の整備	-0.12	0.32
	14 文化施設の整備	0.11	0.37
	15 学校教育の充実	0.03	0.63
	34 中山道をはじめとする史跡などの整備	-0.02	0.39
2	16 子育て支援の充実	0.06	0.70
	17 障がい者福祉の充実	-0.01	0.65
	18 高齢者福祉の充実	-0.03	0.78
	19 保健サービスの充実	0.10	0.61
	20 医療体制の充実	-0.12	0.82
3	1 幹線道路の整備	0.42	0.51
	2 生活道路の整備	0.03	0.54
	4 公共交通機関の充実	-0.27	0.72
	11 美しい景観づくりの推進	0.05	0.42
	12 公園や緑地の整備	-0.15	0.43
	32 亜炭鉱廃坑への対策	-0.52	1.28
4	3 交通安全施設の整備	0.11	0.47
	5 防災に対する体制強化	-0.15	0.89
	6 上水道の整備	0.39	0.44
	7 下水道の整備	0.21	0.46
	8 ごみ減量、リサイクルへの取り組み	0.39	0.56
	9 防犯体制の整備	-0.01	0.67
	10 自然環境の保全	0.18	0.54
33 低炭素社会への取り組み	-0.05	0.50	

分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
5	21 農業基盤の整備	-0.10	0.30
	22 農業者の育成	-0.22	0.48
	23 商業環境の整備	-0.39	0.57
	24 企業の誘致	-0.20	0.75
	25 雇用の確保	-0.30	0.84
	26 観光の振興	-0.27	0.52
6	31 特産品の開発及び支援	-0.26	0.51
	27 情報公開	-0.06	0.39
	28 住民が主体となる活動の支援	-0.03	0.30
	29 女性の社会参加の促進	-0.08	0.37
	30 人口減少への対策	-0.42	0.86
	35 効率的な行政経営	-0.14	0.64

■基本施策ごとの状況

【2-1 健康づくり】

施策	単位施策
(1)健康づくりの推進	①健康づくりに対する意識啓発【A】 ②自主的な健康づくり活動への支援【A】 ③思春期の保健対策【A】
(2)母子保健の充実	①健康診査、健康相談の充実【A】 ②障がい等の早期発見と早期療育支援体制の整備【A】 ③健康教育の充実【B】 ④子育て中の親に対する支援【A】
(3)成人保健の充実	①がん検診受診率の向上【A】 ②30歳代健診の受診率の向上【A】 ③健康教育の充実【A】 ④健康相談の充実【A】
(4)感染症対策	①各種予防接種の実施【A】
(5)精神保健の充実	①サポート体制の整備【A】 ②自殺予防の啓発【A】

○大半の施策がA評価で達成しており、(2)③健康教育の充実がB評価でほぼ達成である。いずれの単位施策も今後継続する方針である。

○健康づくりは意識啓発と乳幼児期から思春期、成人、高齢者というライフサイクルにおいて住民の連続した取組みを促すことが重要であり、住民が気軽に健康相談に訪れることができ、ウォーキングなどの健康づくりに取組みやすい環境づくりを一層進めることが課題である。

＜協働の実績等＞

○健康づくり推進員の育成によりウォーキング参加者などの輪が広がっているという効果があり、高齢化が一層進む中で、住民主体・協働の健康づくりがますます求められる。

【2-2 医療】

施策	単位施策
(1)地域医療の充実	①地域医療体制の充実【A】
(2)救急医療の充実	①救急医療体制の充実【A】 ②救急救命体制の充実【A】
(3)包括的な医療ケアの充実	①医療費助成の充実【A】

	②効果的な医療サービスの活用促進【A】 ③医療ネットワークの確立【C】
--	--

- 大半の施策がA評価の達成したであり、(3)③医療ネットワークの確立がC評価で実施中である。いずれの単位施策も今後は継続する方針である。
- 今後、団塊の世代が後期高齢者になる時期（平成32年）も迎えることに伴い障がい者の増加が予測されるため、健康づくりの施策と連携しながら、病気になったり怪我をした場合にも安心して医療を受けることができる体制づくりが必要である。

<協働の実績等>

- 医師会や加茂地域病院群輪番病院等の協力で、休日の医療体制を整えており、今後は医療ネットワークの充実を図ることが課題である。

【2-3 地域福祉】

施策	単位施策
(1)地域福祉意識の向上	①「支えあい・助けあい」意識の啓発【A】 ②福祉教育の充実【A】
(2)地域福祉活動の活性化	①地域福祉活動の促進【A】 ②地域福祉の担い手の育成【A】 ③地域福祉活動の支援【A】
(3)地域福祉社会の形成	①生活支援サービスの充実【C】 ②地域福祉計画の推進【A】

- 大半の施策がA評価の達成したであり、(3)①生活支援サービスの充実がC評価で実施中である。いずれの単位施策も今後は継続する方針である。(3)①生活支援サービスの充実については、徘徊高齢者や家族を支援する「ほっとねっと」、高齢者を見守る「福の輪」が運用される段階になると生活支援の充実が期待される。
- 今後も地域福祉計画の推進を図ることや、地域の障がい者見守りのために創設した個別支援会議等のネットワークによる地域福祉活動の推進が必要である。

<協働の実績等>

- 「ほっとねっと」、「福の輪」の取組みは、住民・地域との協働を前提に行うものであり、徘徊する高齢者の搜索や、孤立した高齢者の支援等の模擬訓練など定期的に活動を継続して、連携強化を図っていく。

【2-4 児童福祉】

施策	単位施策
(1)多様な保育ニーズへの対応	①保育サービスの充実【B】 ②保育施設の充実【C】
(2)子育て支援の充実	①地域子育て支援センターの充実【A】 ②ボランティアの育成・支援【A】 ③ファミリーサポートセンター事業の推進【A】 ④要保護事業対策事業への対応【A】
(3)児童の健全育成	①児童館の整備【B】 ②放課後児童健全育成事業の充実【A】

○(2)子育て支援の充実の単位施策はA評価の達成したであるが、(1)多様な保育ニーズへの対応や、(3)児童の健全育成については、Bでほぼ達成やCで実施中の単位施策がみられる。

○(2)①地域子育て支援センターの充実ではセンターである「ぽっぽ館」は利用状況が良く、(2)③ファミリーサポートセンターも利用会員が増加している。(3)②放課後児童健全育成事業の充実では、平成27年度に全ての学校区で放課後児童クラブを設置する予定である。一方、(1)①保育サービスの充実や、(3)①児童館の充実のために児童館のあり方を検討することは課題である。

<協働の実績等>

○ファミリーサポートセンター事業を通じて、子育て経験の豊かな住民が一時預かりなどのボランティアとして取り組めるよう、会員の増加・利用促進を図った。

【2-5 高齢者福祉】

施策	単位施策
(1)地域包括ケアの推進	①地域密着型サービスの確保【B】 ②在宅福祉サービスの充実【B】 ③地域包括ケアネットワークの整備【B】
(2)介護予防の充実	①介護予防事業の推進【A】 ②介護予防サービスの提供【A】
(3)社会参加・生きがいつくりの推進	①生きがいつくりの促進【A】 ②高齢者団体の活動支援【A】 ③就業機会の拡充【B】 ④健康づくりの推進【A】

- (1)地域包括ケアの単位施策はB評価でほぼ達成、(2)介護予防の充実と(3)社会参加・生きがいくりの推進ではA評価で達成が多い。
- (1)③地域包括ケアネットワークの整備では地域包括支援センターを核とした保健・医療機関や介護サービス事業者とのネットワークを充実することや住民参加を得ること、(2)①介護予防事業の推進では、住民・地域や社会福祉協議会と連携して今後も進めること、(3)①生きがいくりの推進では「ふらっとハウス・あっと訪夢」におけるサロンなどの事業の充実、(3)②高齢者団体の活動支援、(3)③就業機会の充実が今後も必要である。

<協働の実績等>

- 包括支援センターを中心に地域住民との協働を図り、社会福祉協議会や、会員の充実しながらシルバー人材センターなどと連携して、高齢者の支援を進めている。

【2-6 障がい福祉】

施策	単位施策
(1)早期発見・早期療育の充実	①障がいの早期発見と療育の充実【A】
(2)福祉サービスの充実	①介護保険事業の推進【A】 ②施設の整備【C】 ③相談支援の充実【A】
(3)自立と社会参加の支援	①就労支援【A】 ②相互理解と交流の促進【A】 ③バリアフリーの推進【C】 ④家族への支援【A】 ⑤緊急時の対応【A】

- A評価：達成した施策が多いが、(2)②障がい者福祉施設の整備はC評価で実施中であり、民設民営による整備・運営が課題である。また、(3)③バリアフリーの推進については、インフラのみならず住民がよく利用する民間施設等への働きかけを行うことが課題であると考えられる。
- (1)①障がいの早期発見と療育の充実では、個別支援会議により一人一人の状況に応じて対処方法を決めて実施し、効果を上げている。(2)①介護予防事業の推進では、地域生活支援事業による障がいの程度に応じたサービスの供給を行ってきた。
- (3)①就労支援では、ハローワーク等との連携、障がい者支援多機能事業所の支援、(3)②相互理解と交流の促進、(3)④家族への支援、(3)⑤緊急時の対応として災害時の要支援者としての支援を今後も継続する必要がある。

<協働の実績等> —

【2-7 社会保障】

施策	単位施策
(1)各種社会保険制度の適正管理	①国民健康保険制度【C】 ②国民年金制度【C】 ③介護保険制度【C】
(2)生活弱者に対する自立支援	①生活弱者に対する自立支援【A】

○(2)生活弱者に対する自立支援はA評価で達成しているが、(1)各種保険制度の適正運営の3つの単位施策についてはC評価の実施中である。それぞれの施策については、今後も継続する方針である。

○(2)①生活弱者に対する自立支援では、県中濃振興局やパーソナルサポートセンター（県が委託している相談機関）とともに、相談や必要な支援に努めた。(1)各種保険制度の運営については、(1)①特定健診の受診の促進、(1)②国民年金制度や(1)③介護保険制度の住民への周知が今後も必要である。

<協働の実績等> ー

3. 都市基盤

【全体の評価】

■単位施策の達成状況について

A : 達成	B : ほぼ達成	C : 実施中	D : 未実施
4	9	20	1

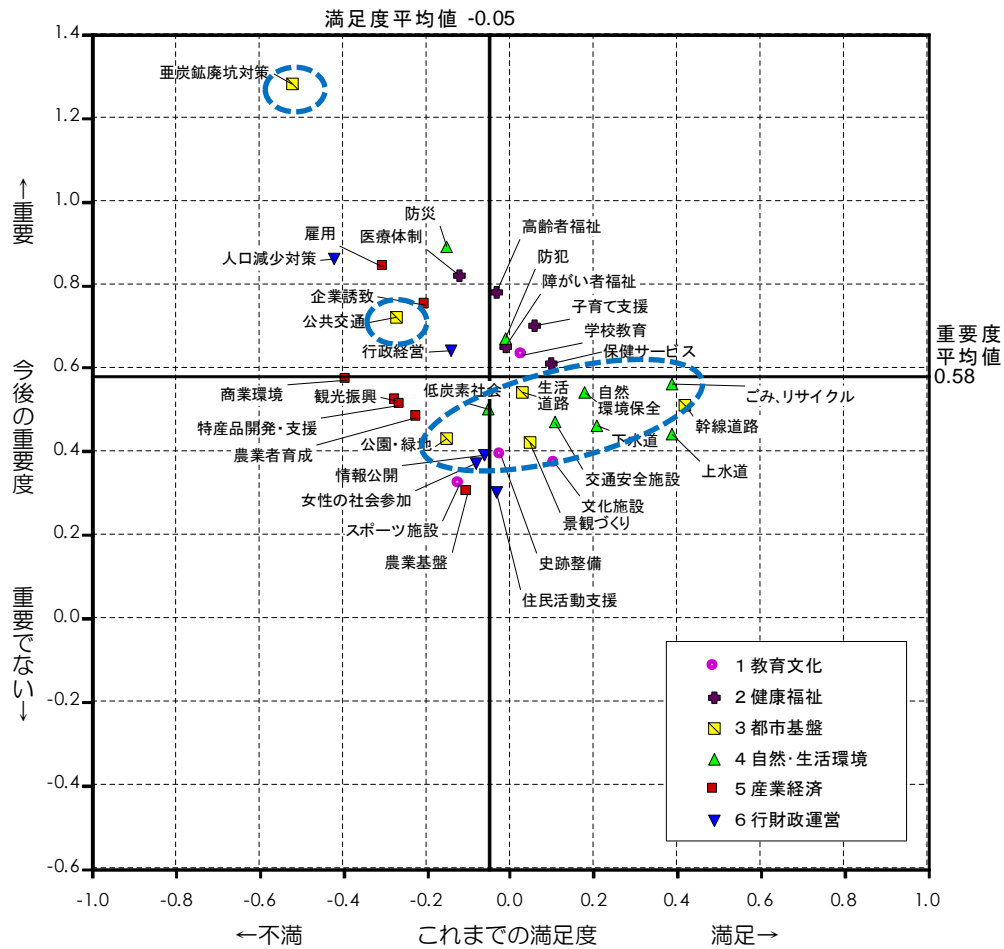
- C実施中という評価の単位施策が多く、3-1市街地整備や3-5亜炭鉱廃坑対策で目立っている。
- Bほぼ達成の評価については、3-2道路整備や3-4治山・治水の単位施策において目立つ。
- A達成の評価は、御嵩駅周辺整備や交通体系の充実など、3-3公共交通の充実の単位施策でみられる。

■住民アンケート調査結果

満足度（満足+やや満足）	
・幹線道路の整備	45.8%
・生活道路の整備	26.4%
・公共交通機関の充実	14.1%
・美しい景観づくりの推進	14.2%
・公園や緑地の整備	13.2%
・亜炭鉱廃坑への対策	13.1%
住民の活動（積極的に取り組んでいる+取り組んでいる）	
・名鉄広見線の利用	26.7%
・コミュニティバスの利用	6.2%

- 住民アンケート調査結果では、満足度では幹線道路の整備が45.8%と圧倒的に高く、次いで生活道路の整備が高くなっている。
- 満足度と重要度の評点分布（施策全体の中）では、亜炭鉱廃坑への対策が全体の施策の中で、満足度が最も低く、重要度が最も高くなっている。公共交通機関の充実についても、満足度が低く、重要度が高くなっている。（評点による満足度と重要度参照）
- 住民の活動としては、名鉄広見線の利用は回答者の4分の1を超えていますが、コミュニティバスの利用している割合は低くなっている。

図表 評点による満足度と重要度（全体の評価と都市基盤）



分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
1	13 スポーツ施設の整備	-0.12	0.32
	14 文化施設の整備	0.11	0.37
	15 学校教育の充実	0.03	0.63
	34 中山道をはじめとする史跡などの整備	-0.02	0.39
2	16 子育て支援の充実	0.06	0.70
	17 障がい者福祉の充実	-0.01	0.65
	18 高齢者福祉の充実	-0.03	0.78
	19 保健サービスの充実	0.10	0.61
3	1 幹線道路の整備	0.42	0.51
	2 生活道路の整備	0.03	0.54
	4 公共交通機関の充実	-0.27	0.72
	11 美しい景観づくりの推進	0.05	0.42
	12 公園や緑地の整備	-0.15	0.43
	32 亜炭鉱廃坑への対策	-0.52	1.28
4	3 交通安全施設の整備	0.11	0.47
	5 防災に対する体制強化	-0.15	0.89
	6 上水道の整備	0.39	0.44
	7 下水道の整備	0.21	0.46
	8 ごみ減量、リサイクルへの取り組み	0.39	0.56
	9 防犯体制の整備	-0.01	0.67
	10 自然環境の保全	0.18	0.54
33 低炭素社会への取り組み	-0.05	0.50	

分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
5	21 農業基盤の整備	-0.10	0.30
	22 農業者の育成	-0.22	0.48
	23 商業環境の整備	-0.39	0.57
	24 企業の誘致	-0.20	0.75
	25 雇用の確保	-0.30	0.84
	26 観光の振興	-0.27	0.52
6	31 特産品の開発及び支援	-0.26	0.51
	27 情報公開	-0.06	0.39
	28 住民が主体となる活動の支援	-0.03	0.30
	29 女性の社会参加の促進	-0.08	0.37
	30 人口減少への対策	-0.42	0.86
35 効率的な行政経営	-0.14	0.64	

■基本施策ごとの状況

【3-1 市街地整備】

施策	単位施策
(1)市街地の基盤整備	①災害に強い市街地形成【C】 ②町営住宅の建て替え計画の推進【C】
(2)国道 21 号バイパス沿道における新市街地の形成	①秩序ある市街地形成のための手法の導入【C】
(3)中山道の風情が漂う町並みの再生	①御嶽宿、伏見宿における賑わいの創出【C】

○全ての施策がC評価で実施中である。(1)①災害に強い市街地形成では、狭隘道路の整備や雨水排水対策において財源の確保が課題である。また、木造住宅の耐震工事はなかなか普及しないため、シェルターなどの代替の方法についても検討することが課題である。

○(2)①秩序ある市街地形成のための手法の導入では、国道 21 号バイパス沿道で隣接する可児市へ大型店舗立地計画があることを踏まえて、土地利用を検討する必要がある。(3)①御嶽宿・伏見宿における賑わいの創出では、居住者の協力を得ながら町並み再生と保全を進める必要がある。

<協働の実績等>

○町並みの再生については、プランターの設置、行燈の制作を高校の協力を得て実施するとともに、みたけ地域活性化委員会が修景作業を行うなどの取組みが進んだ。

【3-2 道路整備】

施策	単位施策
(1)広域幹線道路網の確立	①主要地方道、県道の整備促進【C】 ②現国道 21 号の整備促進【B】
(2)はしご状道路網の形成	①都市計画道路の整備【B】 ②主要町道の整備【B】
(3)安全で快適な生活道路の整備推進	①町道の整備・改良【C】 ②住民主体による道路美化と協働による維持管理の推進【C】

○(2)はしご状道路網の形成は単位施策がB評価でほぼ達成しているが、(3)安全で快適な生活道路の整備推進の単位施策などはC評価で実施中である。

○(2)①都市計画道路の整備のためには財源の確保、(2)②主要町道の整備については維持補修を含めて効率的な整備が課題である。

○(1)②現国道 21 号の整備促進については国道下の空洞調査を実施中であり、(1)①主要

地方道、県道の整備促進については、多治見白川線などの狭小区間の整備等が課題である。(3)②住民主体による道路美化と協働による維持管理の推進では、ロードサポーター（10団体）による除草等の活動が行われてきた。

<協働の実績等>

- ロードサポーターによる、路沿線の除草等の活動を実施しており、今後はその登録団体を増やすことを目指す。

【3-3 公共交通】

施策	単位施策
(1)鉄道	①名鉄広見線の利便性向上【C】 ②御嵩駅周辺の整備【A】 ③名鉄の利用促進【C】
(2)バス	①ふれあいバスの再編【A】 ②Y A Oバスの路線維持【A】 ③交通体系の充実【A】

- (1)②御嵩駅周辺の整備、(2)バスの3つの単位施策がA評価である。

○(1)②御嵩駅周辺については、今後はソフト面の取組みや駅舎の観光案内所としての充実を図ることが課題である。(2)①ふれあいバスの再編ではデマンド方式を導入しており、(2)②Y A Oバスの路線維持、(2)③交通体系の充実については、Y A Oバスとコミュニティバス（ふれあいバス）の路線の調整や、鉄道とバスの結節による名鉄広見線の利用促進が今後の課題である。

- (1)①名鉄広見線の利便性向上と(1)③名鉄の利用促進については、名鉄広見線の利用者は減少が続いているため鉄道とコミュニティバス、自転車駐輪場、駐車場についての周知や、イベント等による利用促進のための取組みが一層求められる。

<協働の実績等>

- 名鉄広見線の利用促進に際しては、「名鉄広見線守ろう会」のお出かけの会、町商工会青年部OBによる「エコビアガーデン」が毎月開催されている。
- 名鉄広見線活性化協議会によりイベント等の事業を実施してきており、今後も住民、企業、学校、あるいは沿線自治体との取組みの充実が必要である。

【3-4 治山・治水】

施策	単位施策
(1)森林、農地の保全	①健全な森林の管理【B】 ②森林の多面的機能の保全【B】

	③農地の適正管理【C】
(2)治山の推進	①治山・砂防事業の推進【B】
(3)河川等の改修	①河川・水路・ため池の改修の促進【C】
(4)協働による保全・管理の推進	①町民主体による清掃活動の推進【D】 ②森林や遊休農地の有効活用の推進【B】

- (1)森林、農地の保全、(2)治山の推進などの単位施策がB評価でほぼ達成されており、(3)河川等の改修はC評価で実施中である。
- (1)③農地の適正管理がC評価で実施中であり、農地の集積・集約化など、増加している遊休農地・耕作放棄地の対策が課題である。(3)①河川・水路・ため池の改修の促進では、奥田川、井尻川の改修のための財源確保、農業用ため池の改修が特に課題である。
- (4)①町民主体による清掃活動の推進は「真名田親水公園を守る会」が解散したため、同公園の管理が問題になっている。

<協働の実績等>

- 森林ボランティア（水土里隊）が、森林整備活動や炭、薪、きのこ栽培など森林資源の有効活用を進めており、その活動継続のための支援が必要である。

【3-5 亜炭鉱廃坑対策】

施策	単位施策
(1)防災対策の推進	①亜炭鉱廃坑対策会議の開催【C】 ②亜炭鉱廃坑危険度調査の促進【C】 ③亜炭鉱廃坑対策工事の促進【C】
(2)復旧対策の充実	①特定鉱害復旧事業等基金の安定的な継続【C】

- 全ての単位施策がC評価で実施中である。
- (1)②亜炭鉱廃坑危険度調査の促進では、地盤せい弱調査（防災モデル事業）後の具体的な対策を国に要望していく必要がある。同様に、(2)①特定鉱害復旧事業等基金の安定的な継続のために、国に対して特定鉱害復旧事業費等基金の補てん・積み増しを要望する必要がある。

<協働の実績等> —

【3-6 公園・緑地】

施策	単位施策
(1)身近な公園等の整備	①南山公園の施設改修【C】 ②公園の維持管理の充実【C】
(2)緑化と緑地保全の推進	①御嵩町名木等認定基準に基づく巨木、 名木、樹木等調査及び指定【B】 ②緑地保全林の適正管理【B】
(3)親水空間の整備	①ビオトープの管理【C】 ②親水公園の整備【C】
(4)協働による清掃活動等の推進	①清掃活動等の推進【C】

- (2)緑化と緑地保全の推進の単位施策はB評価でほぼ達成であるが、そのほかはC評価で実施中である。
- (1)①南山公園の施設改修は整備事業を進めているが、長寿命計画を策定することと、事業費の確保が課題である。(3)②親水公園の整備、(4)①清掃活動等の推進では、真名田親水公園を守る会が解散したため施策としては廃止の方向である。

＜協働の実績等＞

- (3)①ビオトープの管理はロードサポーター団体が清掃等を実施していることを生かして、これらの団体が日常的な管理に参画する体制づくりが必要である。

4. 循環型社会

【全体の評価】

■ 単位施策の達成状況について

A : 達成	B : ほぼ達成	C : 実施中	D : 未実施
10	9	32	1

○C実施中という評価の単位施策が多く、4-4 地域環境、4-5 上下水道、4-7 防犯、4-8 交通安全の単位施策は全てC評価である。

○次いで、A達成の評価と、Bほぼ達成の項目数はほぼ並ぶ。

■ 住民アンケート調査結果

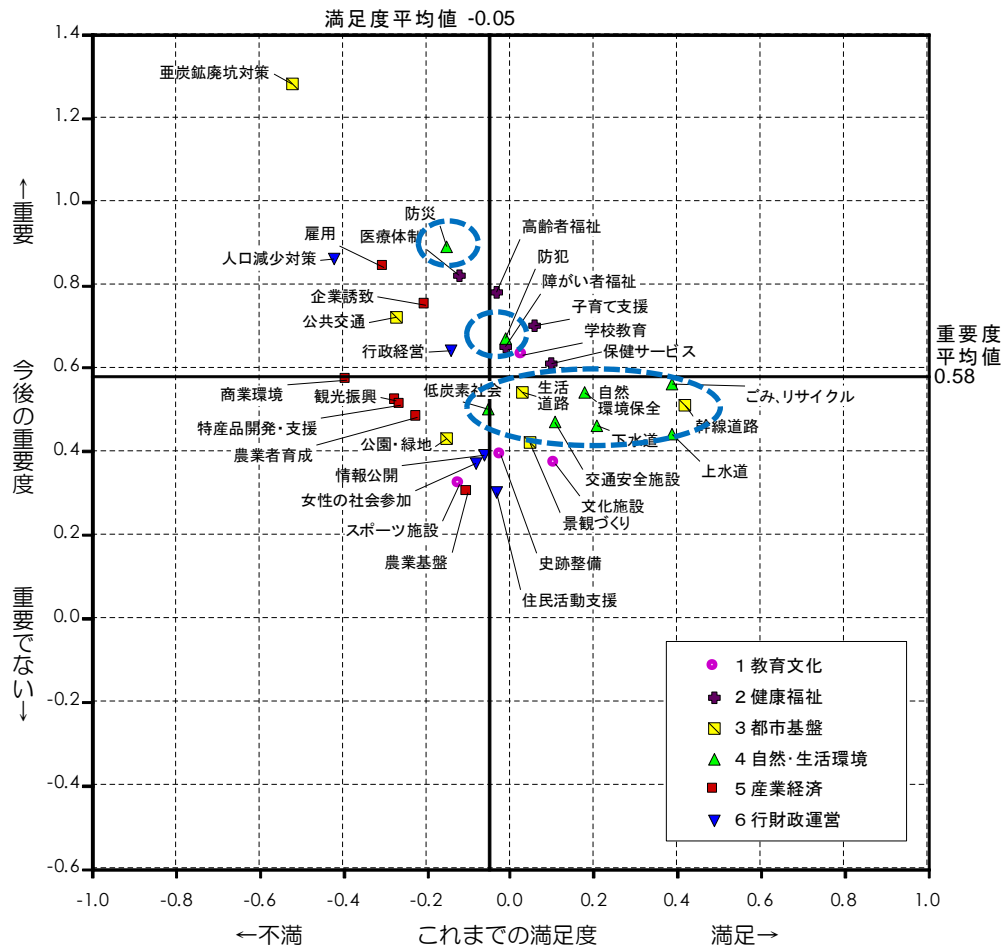
満足度（満足+やや満足）	
・交通安全施設の整備	25.3%
・防災に対する体制強化	12.3%
・上水道の整備	39.0%
・下水道の整備	32.0%
・ごみ減量、リサイクルへの取り組み	42.9%
・防犯体制の整備	14.1%
・自然環境の保全	23.7%
・低炭素社会（環境モデル都市）への取り組み	9.8%
住民の活動（積極的に取り組んでいる+取り組んでいる）	
・再生品・エコマークの商品の購入	39.3%
・ごみ減量・リサイクル	77.3%
・エネルギー節約・二酸化炭素削減	54.7%
・道などのごみを拾う	39.5%
・自然環境を大切に親しむ	52.5%
・災害時の備え	33.3%
・防犯	60.7%

○住民アンケート調査結果では、満足度ではごみ減量、リサイクルをはじめ、上水道の整備、下水道の整備が比較的高くなっている。低炭素社会（環境モデル都市）への取り組みや、防災に対する対策強化が低くなっている。

○満足度と重要度の評点分布（施策全体の中）では、防災に対する体制強化が循環型社会の施策の中で、満足度が最も低く、重要度が最も高くなっている。そのほかの項目は満足度が高く、重要度は低いものが大半である。（評点による満足度と重要度参照）

○住民の活動としては、ごみ減量・リサイクルが回答者の4分の3以上、エネルギー節約・二酸化炭素削減と自然環境を大切に親しむが回答者の半数を超えている。

図表 評点による満足度と重要度（全体の評価と自然・生活環境）



分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
1	13 スポーツ施設の整備	-0.12	0.32
	14 文化施設の整備	0.11	0.37
	15 学校教育の充実	0.03	0.63
	34 中山道をはじめとする史跡などの整備	-0.02	0.39
2	16 子育て支援の充実	0.06	0.70
	17 障がい者福祉の充実	-0.01	0.65
	18 高齢者福祉の充実	-0.03	0.78
	19 保健サービスの充実	0.10	0.61
3	20 医療体制の充実	-0.12	0.82
	1 幹線道路の整備	0.42	0.51
	2 生活道路の整備	0.03	0.54
	4 公共交通機関の充実	-0.27	0.72
	11 美しい景観づくりの推進	0.05	0.42
4	12 公園や緑地の整備	-0.15	0.43
	32 亜炭鉱廃坑への対策	-0.52	1.28
	3 交通安全施設の整備	0.11	0.47
	5 防災に対する体制強化	-0.15	0.89
	6 上水道の整備	0.39	0.44
	7 下水道の整備	0.21	0.46
	8 ごみ減量、リサイクルへの取り組み	0.39	0.56
9 防犯体制の整備	-0.01	0.67	
5	10 自然環境の保全	0.18	0.54
	33 低炭素社会への取り組み	-0.05	0.50
	21 農業基盤の整備	-0.10	0.30

分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
5	22 農業者の育成	-0.22	0.48
	23 商業環境の整備	-0.39	0.57
	24 企業の誘致	-0.20	0.75
	25 雇用の確保	-0.30	0.84
	26 観光の振興	-0.27	0.52
	31 特産品の開発及び支援	-0.26	0.51
6	27 情報公開	-0.06	0.39
	28 住民が主体となる活動の支援	-0.03	0.30
	29 女性の社会参加の促進	-0.08	0.37
	30 人口減少への対策	-0.42	0.86
	35 効率的な行政経営	-0.14	0.64

■基本施策ごとの状況

【4-1 循環型社会】

施策	単位施策
(1)生ごみの減量化	①生ごみの自家処理の推進【A】
(2)資源の有効利用の推進	①分別収集の推進【C】 ②ささゆりクリーンパークの運営【C】 ③環境にやさしい商品の利用【A】
(3)一般廃棄物最終処分場適正管理	①一般廃棄物の発生抑制と再利用の検討【C】
(4)資源・エネルギーの有効活用	①総合的な地球環境温暖化対策の推進【A】 ②省エネルギー活動の推進【A】 ③再生可能自然エネルギーの利用促進【A】 ④水資源の有効活用【A】

○半数以上の単位施策がA達成という評価であり、(1)生ごみの減量化や、(4)資源・エネルギーの有効活用などの中でA評価がみられる。

○(2)①分別収集の推進では、アパート等の集合住宅居住者への周知が課題である。また、(4)資源・エネルギーの有効活用については「環境モデル都市」の取組みとして力を入れて推進することが必要である。

<協働の実績等>

○「環境モデル都市行動計画策定」に際して、「みたけクリーンエネルギー推進協議会」を創設するとともに、「重点エコプロジェクト推進会議」（環境基本計画に基づく）による住民との協働を進めており、それぞれの組織体制の強化と取組みの一層の推進が課題である。

【4-2 自然環境の保全】

施策	単位施策
(1)里山の保全と活用	①里山保全ボランティア活動の充実【B】 ②下流域自然環境保全活動団体との連携による水源の森づくり【C】
(2)生態系の保全	①野生生物の保護【B】
(3)農地の保全と活用	①環境保全型農業の推進【C】 ②休耕田の有効活用【C】

- (1)里山の保全と再生、(2)生態系の保全の単位施策は、Bでほぼ達成されている。(3)農地の保全と活用は、C評価で実施中である。
- (1)①里山保全ボランティア活動の充実では、今後、親子が参加する里山講座の開催を計画しており、企業との協働の森づくりは今後も充実する方針である。(3)①環境保全型農業の推進ではJAとともに「ぎふクリーン農業」の啓発、(3)②休耕田の有効活用は、町民菜園として活用を進めている。

<協働の実績等>

- 企業との協働による森づくり活動は、アサヒビール、岐阜造園と実施してきており、平成27年度はさらに1社の参加が増える予定である。
- (2)①野生生物の保護では、「御嵩町版レッドデータブック策定委員会」において住民の参画を得ており、特定外来植物の駆除については住民ボランティア団体「みたけをきれいにし隊」などと取組みを進めた。

【4-3 環境保全のためのしくみづくり】

施策	単位施策
(1)環境情報の共有と環境学習の充実	①ホームページ・町広報紙の活用【A】 ②環境イベントの実施【B】 ③環境学習の充実【A】
(2)環境保全のためのしくみづくり	①事業者との環境保全協定制度の充実【A】 ②環境保全団体の支援【A】 ③生活環境保全活動のための制度創設【B】

- 単位施策はAの達成という評価と、Bのほぼ達成という評価であるが、環境モデル都市の推進と合わせて今後も取組みを充実する必要がある。
- (1)②環境イベントの実施については、環境フェア等を開催してきており、今後は「エコアップマーケット（仮称。物々交換会）」の開催を検討し、(1)③環境学習の充実では名鉄広見線を活用した講座を開催しており、先進的な環境モデル都市への子どもの派遣も検討している。
- (2)①事業者との環境保全協定制度の充実では、協定を17事業所と締結してきたが、その拡大を図る方針である。(2)③生活環境保全活動のための制度創設は、「新エネルギーシステム普及支援事業補助金」の対象を事業者向けの太陽光や燃料電池に拡大した制度とした。

<協働の実績等>

- 各種環境保全団体の「重点エコプロジェクト推進会議」（環境基本計画による）への

参加や環境フェアの開催などを進めてきた。

【4-4 地域環境】

施策	単位施策
(1)環境監視体制の充実	①環境汚染総合調査【C】 ②環境悪化への迅速な対策【C】
(2)快適な環境づくり	①不法投棄対策【C】 ②生活マナーの徹底【C】 ③環境美化運動の促進【C】 ④空き地・空き家の雑草等の適正な管理指導【C】

○単位施策は全てC評価の実施中であり、今後も継続する方針である。

○(1)②環境悪化への迅速な対策では、環境汚染総合調査を実施しており、環境悪化が判明した場合には迅速に処理に当たることとしている。

○(2)①不法投棄対策では、休日環境監視パトロールの実施により、不法投棄の早期発見と抑止効果があった。(2)③環境美化運動の促進では、本町と可児市、多治見市は生活排水対策重点地域の指定を受けており、可児川クリーンキャンペーンを今後も実施することが必要である。(2)④空き地・空き家の雑草等の適正な管理指導では、空き家対策特別措置法が施行されることも生かして、本格的な対策に取り組むことが課題である。

<協働の実績等>

○町内一斉清掃や松野湖クリーン作戦、東濃高校の生徒による駅周辺・可児川の清掃活動を支援した。

【4-5 上下水道】

施策	単位施策
(1)安定した水道供給の推進	①上水の安定供給【C】 ②水道施設の合理化【C】 ③水道未普及地域の対策【C】
(2)生活排水処理施設の整備推進	①地域特性に応じた生活排水処理の促進【C】 ②水洗化の促進【C】

○単位施策は全てC評価の実施中であり、効果的な施策内容として工夫しながら今後も継続する予定である。

- (1)①上水の安定供給については、管路破損した長谷送水ポンプ場を新たに整備しており、今後は基幹管路の更新を重点的に進める方針である。(1)②水道施設の合理化は、「環境モデル都市」の取組みの一つとして建設中のポンプ場の消費電力の低減を図り、(1)③水道未普及地域の対策では上之郷において上水道の整備を進めている。
- (2)①地域の特性に応じた生活排水処理の促進では、下水道計画の見直しを行っているところであり、(2)②水洗化の促進では下水道供用開始区域内の家庭に対して、下水道に接続することを広報誌等により今後も啓発していく。

<協働の実績等> ー

【4-6 防災】

施策	単位施策
(1)災害に強いまちづくり	①急傾斜地崩壊対策の推進【B】 ②建物の耐震化の推進【B】
(2)防災体制の充実	①地域防災計画の見直し【B】 ②自主防災組織の育成・活動支援【C】 ③防災訓練の充実【C】 ④災害時要援護者の支援体制の構築【B】 ⑤防災倉庫及び資機材用の整備充実【C】 ⑥危機管理体制の充実【B】
(3)情報伝達手段の充実	①防災行政無線の再整備【D】

- (1)災害に強いまちづくりの単位施策はB評価でほぼ達成、(2)防災体制の充実はBとC評価の実施中がある。(3)情報伝達手段の充実についてはD評価の未実施で、防災行政無線のデジタル化は多額の費用を要するために着手していない。
- (1)①急傾斜地崩壊対策の推進では、土砂災害ハザードマップを全戸に配布しており、土砂災害警戒区域指定区域も追記して改訂した。(1)②建物の耐震化の推進では、耐震性のない施設を避難所から除外し、今後、庁舎の耐震工事を検討する予定である。
- (2)①地域防災計画の見直しでは、避難所運営マニュアル等を策定した。(2)②自主防災組織の育成・活動支援では、御嵩町防災アカデミーを開催して防災リーダーを認定しており、防災リーダーが避難所運営訓練を企画・立案することにより(2)③防災訓練の充実を図ってきた。また、(2)④災害時要援護者の支援体制の構築では、個別支援計画を自治会が策定することを支援しており、今後も継続する方針である。

<協働の実績等>

- 防災リーダーが企画・立案の中心となって、避難所開設訓練を実施した。

【4-7 防犯】

施策	単位施策
(1)防犯環境の充実	①防犯灯の整備【C】 ②子ども110番の家の充実【C】
(2)地域防犯活動の推進	①防犯意識の向上【C】 ②自主的な防犯活動の支援【C】 ③地域防犯体制の強化【C】

○全ての単位施策がC評価の実施中である。

○(1)①防犯灯の整備は、「環境モデル都市」としてLED型防犯灯への移行を進める予定である。(1)②子ども110番の家の充実については、学校・PTAと連携して増やしたが、今後も町民に周知して協力を得る必要がある。

○(2)②自主的な防犯活動の支援においては、児童生徒の登下校時等の見守り活動を支援し、「おSUN歩あるきたい」等の活動も盛んになってきており、今後も継続する方針である。

<協働の実績等>

○「おSUN歩あるきたい」のように、児童生徒の見守り活動に住民が参加した。

【4-8 交通安全】

施策	単位施策
(1)交通安全施設の整備	①交通安全施設の整備【C】
(2)交通安全活動の促進	①地域組織の自主的な活動の支援【C】 ②高齢者への交通安全の啓発【C】

○(1)交通安全施設の整備、(2)交通安全活動の促進の単位施策は、全てC評価で実施中である。

○(1)①交通安全施設の整備は交通安全対策と連携して、カーブミラーや啓発看板を順次設置している。

○(2)①地域組織の自主的な活動の支援は交通安全協会等と共同で街頭啓発を実施しており、(2)②高齢者への交通安全の啓発は町内の6病院などで、チラシや物品を配布した。

<協働の実績等> —

【4-9 消防・救急】

施策	単位施策
(1)消防体制の充実	①常備消防の充実【C】 ②消防団組織の見直し【C】 ③消防施設の充実【C】
(2)救急救助体制の充実	①救急救助体制の充実【C】

○(1)消防体制の充実、(2)救急救助体制の充実の単位施策は、全てC評価で実施中である。

○(1)②消防団組織の見直しにおいては、女性の参画を得るために女性消防団を設立する予定である。(1)③消防施設の充実は、防火水槽、消火栓の点検・修繕を実施してきており、上之郷地内の水道設置に合わせて効果的に消火栓を設置する予定であるが、大規模災害に備えた飲料水兼用の防火水槽の設置は未実施である。

○(2)①救急救助体制の充実では、可茂消防事務組合が救急救命講習を行っており、AEDの設置や周知が課題である。

<協働の実績等>

○自主防災組織や自主防災隊による消火器や消火栓の使い方の講習、救急救命講習の開催を行った。

5. 産業経済

【全体の評価】

■ 単位施策の達成状況について

A : 達成	B : ほぼ達成	C : 実施中	D : 未実施
0	15	22	2

○C実施中という評価の単位施策が多く、5-5観光・レクリエーション、5-6就業者と事業者支援の単位施策は全てC評価である。

○5-2林業は全てB評価のほぼ達成であり、5-1農業は大半がB評価である。

■ 住民アンケート調査結果

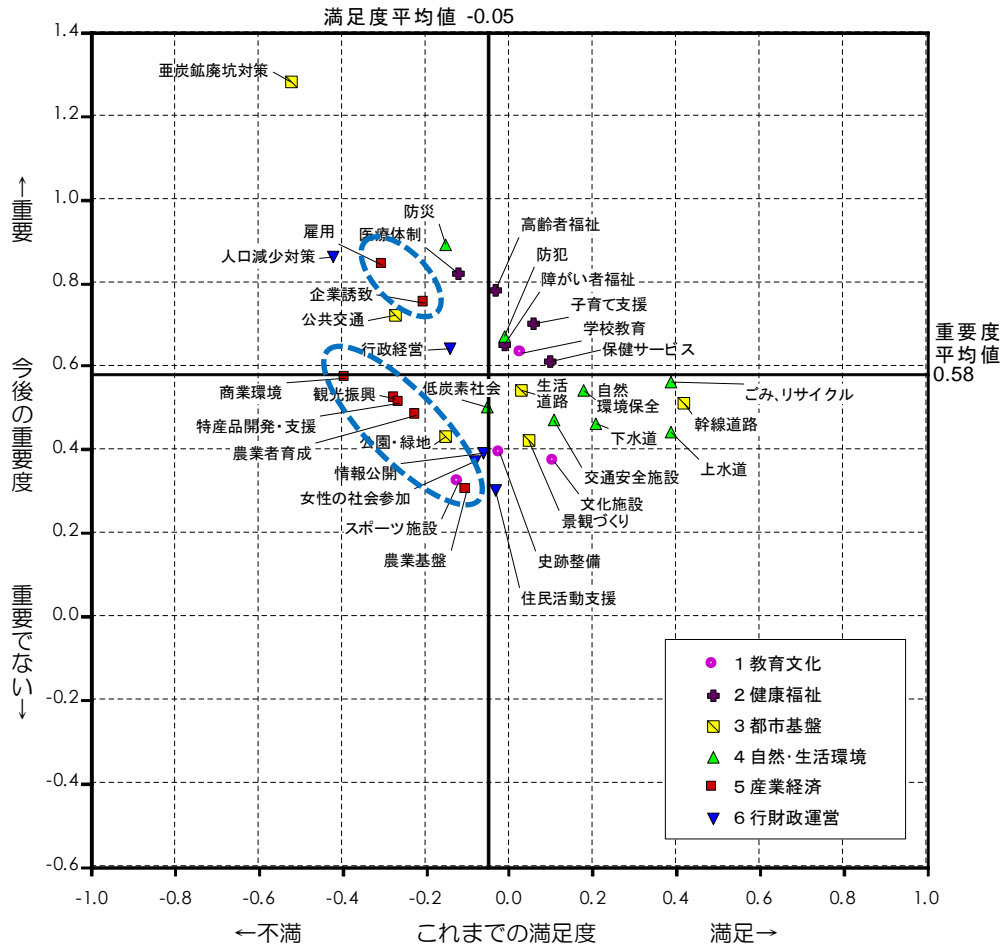
満足度（満足+やや満足）	
・農業基盤の整備	4.3%
・農業者の育成	2.9%
・商業環境の整備	3.6%
・企業の誘致	12.1%
・雇用の確保	5.2%
・観光の振興	6.2%
・町特産品の開発及び支援	4.9%
住民の活動（積極的に取り組んでいる+取り組んでいる）	
・地元商店での買い物	37.2%
・町のPR・町外の人を案内	10.0%
・趣味の農業・農業体験	27.7%

○住民アンケート調査結果では、満足度では企業の誘致が10%を超えるが、そのほかの項目は低くなっている。

○満足度と重要度の評点分布（施策全体の中）では、雇用の確保と企業の誘致は満足度が低く、重要度が高くなっている。そのほかの項目は、満足度が低くなっている重要度も低くなっている。（評点による満足度と重要度参照）

○住民の活動としては、地元商店での買い物が37.2%と高く、次いで趣味の農業・農業体験が27.7%である。

図表 評点による満足度と重要度（全体の評価と産業経済）



分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
1	13 スポーツ施設の整備	-0.12	0.32
	14 文化施設の整備	0.11	0.37
	15 学校教育の充実	0.03	0.63
	34 中山道をはじめとする史跡などの整備	-0.02	0.39
2	16 子育て支援の充実	0.06	0.70
	17 障がい者福祉の充実	-0.01	0.65
	18 高齢者福祉の充実	-0.03	0.78
	19 保健サービスの充実	0.10	0.61
3	20 医療体制の充実	-0.12	0.82
	1 幹線道路の整備	0.42	0.51
	2 生活道路の整備	0.03	0.54
	4 公共交通機関の充実	-0.27	0.72
	11 美しい景観づくりの推進	0.05	0.42
4	12 公園や緑地の整備	-0.15	0.43
	32 亜炭鉱廃坑への対策	-0.52	1.28
	3 交通安全施設の整備	0.11	0.47
	5 防災に対する体制強化	-0.15	0.89
	6 上水道の整備	0.39	0.44
	7 下水道の整備	0.21	0.46
	8 ごみ減量、リサイクルへの取り組み	0.39	0.56
9 防犯体制の整備	-0.01	0.67	
10 自然環境の保全	0.18	0.54	
33 低炭素社会への取り組み	-0.05	0.50	

分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
5	21 農業基盤の整備	-0.10	0.30
	22 農業者の育成	-0.22	0.48
	23 商業環境の整備	-0.39	0.57
	24 企業の誘致	-0.20	0.75
	25 雇用の確保	-0.30	0.84
	26 観光の振興	-0.27	0.52
6	31 特産品の開発及び支援	-0.26	0.51
	27 情報公開	-0.06	0.39
	28 住民が主体となる活動の支援	-0.03	0.30
	29 女性の社会参加の促進	-0.08	0.37
	30 人口減少への対策	-0.42	0.86
35 効率的な行政経営	-0.14	0.64	

【5-1 農業】

施策	単位施策
(1)農業基盤の強化	①地域営農集団と集落営農体制の連携【B】 ②地域特産物の生産と販路の開拓【B】 ③新たな担い手農家の育成強化【B】 ④経営規模拡大による農業経営の安定化【C】
(2)農地の保全と有効活用	①農業生産基盤の維持整備【B】 ②優良農地の保全【B】 ③環境保全型農業の展開【B】 ④畜産環境保全対策の推進【B】 ⑤住民の農業への参画【B】

○(1)④経営規模拡大による農業経営の安定化（C）以外の単位施策がB評価で、ほぼ達成となっている。

○(1)④経営規模拡大による農業経営の安定化については、平成26年度から始まった農地中間管理事業により農地の集積、集約化を進めている。(1)①地域営農集団と集落営農体制の連携では、「農事組合法人伏見機械化営農組合」が設立され、その経営安定化のための支援が必要である。(1)②地域特産物の生産と販路の開拓では地元産大豆の活用や「JAめぐみの」による野菜スイーツの加工などを支援し、(1)③新たな担い手農家の育成強化では前沢地域の若手農業者を支援した。

○(2)①農業生産基盤の維持整備では、ため池の改修を計画的に進めており、(2)②優良農地の保全では、農業委員会が耕作放棄地の調査を実施しており、農地管理者への指導を今後も進めていく方針である。

＜協働の実績等＞

○農業生活改善グループが町の各種イベントに参加して地元産の食品を提供した。

○ぎふクリーン生産物登録者（「ぎふクリーン農業」による）が生産した野菜を学校給食の食材として利用した。

【5-2 林業】

施策	単位施策
(1)生産基盤の整備	①林業基盤の整備【B】 ②森林の育成【B】
(2)森林の保全と活用	①山林火災防止【B】 ②地元材の利用促進と林産品の開発【B】

	③ふれあい施設の整備【B】 ④里山保全活動への町民等の参加【B】
--	-------------------------------------

- 単位施策は全てB評価で、ほぼ達成している。
- (1)①林業基盤の強化では、森林経営計画に基づいて私有林の集約を拡大してきており、(1)②森林の育成では、森林環境税を活用して間伐を進めており、今後も集約化と放置森林の解消を進める必要がある。
- (2)②地元材の利用促進と林産品の開発では、地元製材所と連携して町有林の材を水土里隊が木製品化を行った。(2)④里山保全活動への町民等の参加では、環境税を活用して広葉樹林を拡大した。

<協働の実績等>

- 森林所有者、森林組合と連携して森林経営計画を策定し、私有林の集約を図った。
- 水土里隊とともに里山保全活動を継続的に実施しており、今後も水土里隊への町民の参加拡大を図る必要がある。

【5-3 工業】

施策	単位施策
(1)工業団地への立地促進	①工業団地への誘致促進【B】 ②住工分離の促進【C】
(2)新規雇用の開発	①遊休地への企業誘致【C】 ②新規雇用の開発【C】
(3)企業の連携強化	①企業の交流と連携の促進【C】

- (1)①工業団地への誘致促進（B）以外の単位施策は全てC評価で、実施中である。
- (1)①については、グリーンテクノみたけの工業用地の分譲が完了し、グラウンド用地を工業用地に転換して誘致を進めている。
- (1)②住工分離の促進では、町外へ移転する計画を持つ優良事業所の訪問等を行ったが、商工会や工業団地連絡協議会と企業の情報を早期に収集することが課題である。
- (2)②新規雇用の開発は、「産業祭」において町内の企業をPRしたが、東濃可児雇用開発協議会、ハローワークと連携した新規雇用開発が課題である。
- (3)①企業の交流と連携の促進は、みたけ工業団連絡協議会が中心となった社会貢献事業などにより、地元企業や地域との交流を行った。

<協働の実績等>

- みたけ工業団地連絡協議会が、清掃活動や交通安全立哨などの地域貢献を進めた。

【5-4 商業】

施策	単位施策
(1)既存商業の活性化	①商工会との連携【C】 ②商店街の環境整備【C】
(2)新商業地や産業拠点の形成	①新商業施設の誘導【D】 ②物流関連機能の誘導【D】
(3)観光交流と連携した産業振興	①御嶽宿を中心とした観光交流事業との連携【C】

○(1)既存商業の活性化と(3)観光交流と連携した産業振興の単位施策は、C評価で実施中である。(2)新商業地や産業拠点の形成はD評価であり未実施で、行政が商業施設を誘導することが難しい中で商工会と連携した取組みが可能か検討課題となっている。

○(1)①商工会との連携については、会員数が減少している中で「宿の市」などに協力をしてもらっており、今後とも商工会への支援を継続する方針である。(3)①御嶽宿を中心とした観光交流事業との連携では、「御嶽宿わいわい館」や「御嶽宿さんさん広場」を活用してイベントを開催し、「みたけのええもん」に認定した「みたけ華ずし」の活動拠点を整備した。

<協働の実績等>

○商工会が実行委員会を立ち上げて、夏祭りや産業祭を開催し、集客や地域活性化に取り組んでいる。

【5-5 観光・レクリエーション】

施策	単位施策
(1)観光魅力の向上	①御嶽宿の再生と伏見宿の保存【C】 ②地域資源の活用【C】 ③観光ルートの設定【C】 ④特産品の開発・研究【C】 ⑤イベントの開催【C】
(2)受け入れ機能の充実	①観光案内の充実【C】 ②観光ボランティアの充実【C】
(3)体制の強化	①観光推進体制の強化【C】

○全ての単位施策がC評価と実施中であり、今後の継続を図る方針であるが取組みの中身を改善することが課題となっている。

○(1)①御嶽宿の再生と伏見宿の保全は、修景の支援や地域づくり活動助成団体と連携したイベントの開催を進めてきており、今後は中山道としてのPR強化が課題であ

る。(1)②地域資源の活用や(1)③観光ルートの設定についても、中山道などを生かした取組みを進めてきている。

- (1)④特産品の開発・研究は、特産品開発協議会による「みたけのええもん」の認定品が7品目に増えた。
- (2)②観光ボランティアの充実では、観光協会や観光ボランティアガイド「偲歴会」などを支援した。

<協働の実績等>

- 「まち歩きマップ」は大学生、高校生、町民の協力を得て作成した。
- 夏祭りや「みたけの森まつり」は、商工会や各種ボランティア団体の参画を得て開催している。
- 観光協会、「みたけ地域活性化委員会」などと、御嵩町の魅力を情報発信している。

【5-6 就業者と事業者支援】

施策	単位施策
(1)勤労者支援	①雇用情報の提供推進【C】 ②良好な職場環境づくりの促進【C】 ③中高年の雇用対策【C】 ④仕事と家庭の両立支援【C】
(2)事業者支援	①企業経営の安定化支援【C】 ②起業の支援【C】

○全ての単位施策がC評価と実施中である。

- (1)①雇用情報の提供促進は、ハローワーク等と連携して進めている。(1)③中高年の雇用対策は緊急雇用事業を実施したが、その終了によりシルバー人材センターとの連携強化が課題である。
- (2)①企業経営の安定化支援では、御嵩町小口融資制度があるものの、その利用がここ数年皆無であり、(2)②起業の支援も実施していない。

<協働の実績等>

- ハローワーク等と合同で、企業説明会やフォーラムを開催した。

6. 行財政運営

【全体の評価】

■ 単位施策の達成状況について

A：達成	B：ほぼ達成	C：実施中	D：未実施
9	11	25	0

○単位施策はC評価の実施中が多く、6-1 住民参加、6-4 国際化・交流社会への対応、6-6 情報化などでこの評価が目立つ。

○A評価で達成という単位施策は、6-3 人権の尊重、6-8 財政運営などで見られる。

■ 住民アンケート調査結果

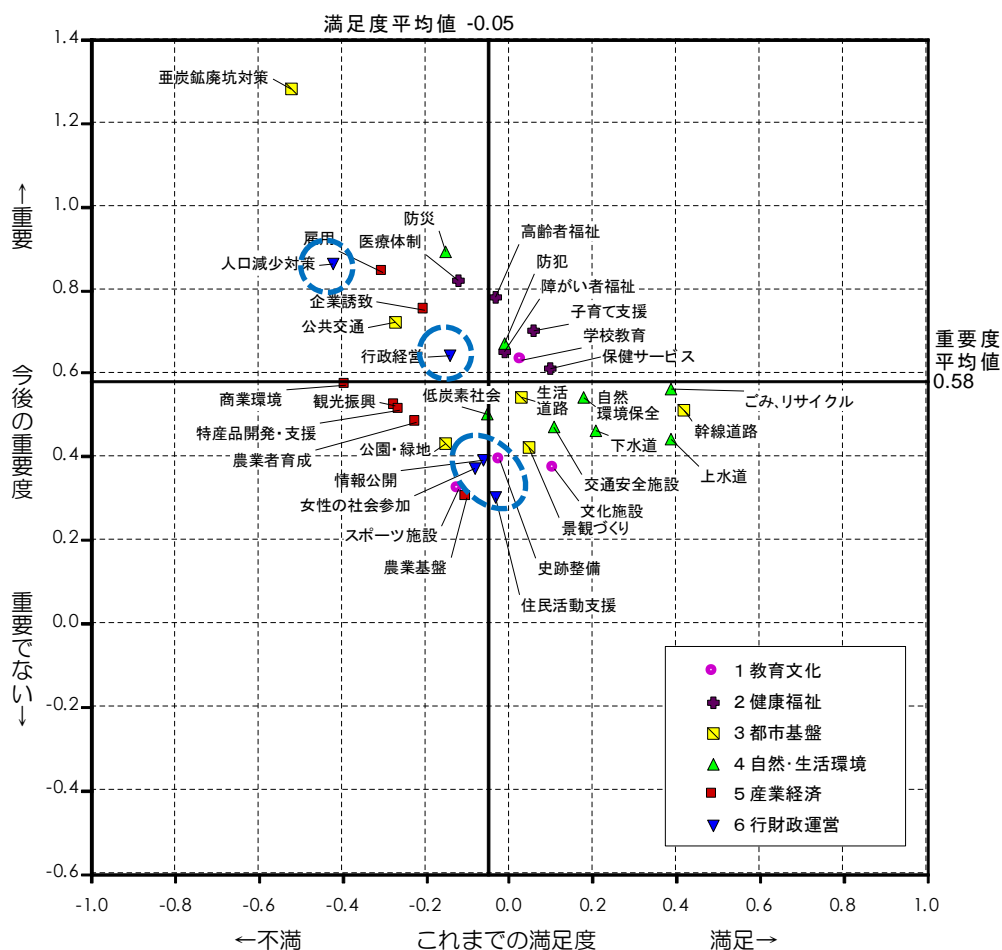
満足度（満足+やや満足）	
・情報公開	8.2%
・住民が主体となる活動の支援	6.9%
・女性の社会参加の促進	4.7%
・人口減少への対策	2.9%
・効率的な行政運営	6.3%
住民の活動（積極的に取り組んでいる+取り組んでいる）	
・地域外国人との交流	6.3%
・子どもに御嵩の良さを伝える	14.3%
・男女平等に気配り	22.8%

○住民アンケート調査結果では、情報公開が 8.2%で行財政運営の中では比較的高いものの、全施策の中では満足度が低い。

○満足度と重要度の評点分布（施策全体の中）では、人口減少への対策の満足度が低く重要度が高くなっており、効率的な行政経営は満足度がやや低く重要度がやや高くなっている。そのほかの3つの項目については満足度は全項目の平均に近く、重要度は低くなっている。（評点による満足度と重要度参照）

○住民の活動としては、男女平等に気配りが 22.8%見られますが、子どもに御嵩の良さを伝えるが 14.3%、地域外国人との交流が 6.3%であり、御嵩町への愛着と定住意識を高めることや、多文化共生が課題と思われる。

図表 評点による満足度と重要度（全体の評価と行財政運営）



分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
1	13 スポーツ施設の整備	-0.12	0.32
	14 文化施設の整備	0.11	0.37
	15 学校教育の充実	0.03	0.63
	34 中山道をはじめとする史跡などの整備	-0.02	0.39
2	16 子育て支援の充実	0.06	0.70
	17 障がい者福祉の充実	-0.01	0.65
	18 高齢者福祉の充実	-0.03	0.78
	19 保健サービスの充実	0.10	0.61
3	20 医療体制の充実	-0.12	0.82
	1 幹線道路の整備	0.42	0.51
	2 生活道路の整備	0.03	0.54
	4 公共交通機関の充実	-0.27	0.72
	11 美しい景観づくりの推進	0.05	0.42
	12 公園や緑地の整備	-0.15	0.43
4	32 亜炭鉱廃坑への対策	-0.52	1.28
	3 交通安全施設の整備	0.11	0.47
	5 防災に対する体制強化	-0.15	0.89
	6 上水道の整備	0.39	0.44
	7 下水道の整備	0.21	0.46
	8 ごみ減量、リサイクルへの取り組み	0.39	0.56
	9 防犯体制の整備	-0.01	0.67
10 自然環境の保全	0.18	0.54	
33 低炭素社会への取り組み	-0.05	0.50	

分野番号	アンケート項目	満足度	重要度
5	21 農業基盤の整備	-0.10	0.30
	22 農業者の育成	-0.22	0.48
	23 商業環境の整備	-0.39	0.57
	24 企業の誘致	-0.20	0.75
	25 雇用の確保	-0.30	0.84
	26 観光の振興	-0.27	0.52
6	31 特産品の開発及び支援	-0.26	0.51
	27 情報公開	-0.06	0.39
	28 住民が主体となる活動の支援	-0.03	0.30
	29 女性の社会参加の促進	-0.08	0.37
	30 人口減少への対策	-0.42	0.86
35 効率的な行政経営	-0.14	0.64	

【6-1 住民参加】

施策	単位施策
(1)住民参加の機会づくり	①審議会等への住民参加の推進【B】 ②広聴体制の整備【A】
(2)自主的な住民活動の支援	①広報及び人材育成の支援【C】 ②活動機会の提供【C】 ③支援する仕組みづくり【C】 ④活動グループのネットワークづくり【C】

- (2)自主的な住民活動の支援の全ての単位施策がC評価で、実施中である。
- (1)①審議会等への住民参加の推進はB評価でほぼ達成しており、審議会等に公募で住民参画を図ってきている。
- 自主的な住民活動を(2)③支援するしくみづくりについては、「みたけ華ずし」、「お休み処ゆったり伏見宿」など活動拠点の整備を進めてきたが、NPOやボランティア活動についての研修・講座のニーズが低くなっていると思われる。

<協働の実績等>

- 地域住民団体が御嶽宿の修観集景作業や中山御嶽宿・伏見宿活性化のためのイベント等を開催することについて町が支援を行った。同様に、空き家・空き店舗を住民活動の拠点として活用するために、町がコーディネートを行った。

【6-2 地域コミュニティ】

施策	単位施策
(1)自治会活動の活性化	①コミュニティ意識の啓発【B】 ②コミュニティリーダーの育成【C】 ③コミュニティ施設の充実【B】 ④地域交流の促進【C】
(2)ふるさと意識の高揚	①住民主体のイベント・行事の支援【C】

- 単位施策はB評価のほぼ達成、または、C評価で実施中である。
- (1)②コミュニティリーダーの育成では、自主防災活性化研修会と新たに「御嵩町防災アカデミー」による防災リーダーの育成と認定、防災リーダーのフォローアップ研修の開催を進めた。(1)④地域交流の促進では地区公民館活動、「ぽっぽ館」(子育て交流施設)、「わいわい館」(地域住民の交流施設)において、多世代に配慮して交流を図った。
- (2)①住民主体のイベント・行事の支援では、「よつてりゃあみたけ夏祭り」、「みたけの森まつり」の開催を支援した。

<協働の実績等>

- 地域における防災活動の活性化などを図るために、防災リーダーを育成してきている。
- 「よってりゃあみたけ夏祭り」、「みたけの森まつり」は町民参加・町民主体の取組みとして開催しており、今後も地域の魅力として発信することができるような催しとして充実するために支援することが課題である。

【6-3 人権の尊重】

施策	単位施策
(1)人権の尊重	①人権意識の高揚【A】
(2)人権施策の推進	①人権重視の行政【A】 ②住民の主体的な取組みの促進【A】

- 全ての単位施策がA評価で達成した状況であり、今後も施策を継続していく方針である。
- (1)①人権意識の高揚では、「ふれあい人権講演会」等が参加者に好評であり、参加者拡大のために周知を図っていく必要がある。
- (2)②住民の主体的な取組みの促進では、人権擁護委員による保育園・幼稚園、小学校、企業での啓発活動を進めてきており、その活動支援を継続する必要がある。

<協働の実績等> —

【6-4 国際化・交流社会への対応】

施策	単位施策
(1)国際交流の促進	①学習活動の促進と人材育成【A】 ②国際化情報の提供【C】 ③外国文化の理解促進【C】 ④外国人への支援【C】

- ①学習活動の促進と人材育成はA評価で達成しており、外国語指導助手（ALT）を各小中学校に配置して児童生徒の英語教育と国際理解を深めるようにした。
- ②国際化情報の提供、③外国文化の理解促進、④外国人への支援はC評価で実施中であり、ポスターやチラシの掲示で啓発することにとどまっているため、今後は各地で課題となっている多文化共生の推進の視点が重要になると考えられる。

<協働の実績等> —

【6-5 男女共同参画】

施策	単位施策
(1)男女共同参画社会形成のための意識づくり	①人権を尊重する意識の高揚【C】 ②男女平等の視点に立った教育・学習の推進【C】
(2)男女がともに参画できるまちづくり	①政策方針決定過程への男女共同参画の推進【C】 ②男女がともに参画できる地域・家庭づくり【B】
(3)多様な働き方が選択できる環境づくり	①多様な働き方が選択できる環境づくり【C】
(4)一人ひとりが自立できる福祉のまちづくり	①生涯を通じた健康づくりの支援・充実【B】 ②自立を支える福祉の充実【A】
(5)男女共同参画プランの推進	①男女共同参画プラン推進の体制づくり【B】

- 単位施策ではC評価の実施中と、B評価のほぼ達成が多い。
- (1)男女共同参画社会形成のための意識づくりの単位施策はC評価で実施中であり、
②男女平等の視点に立った教育・学習の推進では、男女共同参画懇話会を創設しているが、委員公募への応募が少なく人材発掘が課題である。
- (2)②男女がともに参画できる地域・家庭づくりでは、一時保育やファミリーサポートセンターを実施しており、子育て支援センター「ぽっぽかん」では高齢者のボランティアグループが喫茶を運営して多世代交流の場にもなっている。
- (4)①生涯を通じた健康づくりの支援・充実では、保健センターや地域包括支援センターにおいて介護予防事業を行っており、今後は地域福祉と健康づくり、子育て支援の施策について住民ニーズを把握して取組みを検討する必要がある。

<協働の実績等>

- 「ぽっぽかん」では高齢者のボランティアグループが喫茶を運営している。
- 男女共同参画懇話会は公募により委員を募り、男女共同参画プランの推進について提言をもらった。

【6-6 情報化】

施策	単位施策
(1)地域情報化の推進	①情報取扱い教育の充実【B】
(2)行政情報化の推進	①業務系システムの再編、再構築【A】

(3)情報提供・収集体制の充実	①分りやすい情報の提供【C】 ②ホームページの活用【C】 ③情報収集体制の充実【C】 ④コミュニティチャンネルの活用促進【C】
-----------------	--

- (3)情報提供・収集体制の充実の単位施策は、全てC評価の実施中になっている。
- (2)①業務系システムの再編、再構築はA評価で達成しており、御嵩町統合型GISを構築した。
- (3)②ホームページの活用については、町公式のFacebook、twitter、LINEの運用を開始しており、これらを活用した情報発信の強化が課題である。(3)④コミュニティチャンネルの活用促進では、各課において文字放送により情報発信を行っており、台風などの警報発令時にも活用することができた。

<協働の実績等> —

【6-7 行政運営】

施策	単位施策
(1)事務事業の見直し・改善	①事務事業の見直し・改善【C】
(2)民間活力の導入	①指定管理者制度や外部委託の検討・導入【C】 ②住民との協働の推進【C】
(3)組織体制・人事管理の充実	①効率的で柔軟な組織機構の整備【B】 ②適正な人事管理【C】 ③人材育成【C】 ④職員の意識改革【C】

- 単位施策は、大半がC評価の実施中の施策である。
- (1)①事務事業の見直し・改善と(3)①効率的で柔軟な組織体制の整備については、亜炭鉱廃坑対策と環境モデル都市を重点的に取り組むことができるように、機構改革を行った。(2)①指定管理者制度や外部委託の検討・導入においては、「みたけ健康館」と「ふらっとハウス」などの施設について指定管理者制度を導入した。
- (3)③人材育成については、国へ職員の研修派遣を行うとともに、人材育成基本方針に基づいて職員の能力向上を進めている。

<協働の実績等>

- 行政改革推進委員会において、行政改革大綱の進捗状況について意見をもらっている。

【6-8 財政運営】

施策	単位施策
(1)健全な財政運営	①事業の優先順位の明確化【A】 ②受益者負担の適正化【B】
(2)財源の確保	①自主財源の確保【B】 ②依存財源の適正な活用【A】
(3)財政状況の周知	①財政状況の周知【B】

○単位施策はA評価の達成と、B評価のほぼ達成となっている。

○(1)①事業の優先順位の明確化では、3ヶ年実施計画の評価に基づいて事業の優先順位を明確にしているが、一層厳しくなる財政事業を踏まえた優先順位の検討が必要である。

○(2)②依存財源の適正な活用では、国の経済対策による補助金の活用により起債発行額を抑制した。(2)①自主財源の確保では収納担当者会議を設置して担当課が連携して税の収納等を行ったが、産業振興策などによる新たな税収確保が課題である。

○(3)①財政状況の周知では、住民が分かりやすいようにホームページに公表している。

<協働の実績等> —

【6-9 広域行政】

施策	単位施策
(1)広域連携の充実	①広域行政の充実【C】

○(1)①広域連携の充実は、C評価で実施中である。中濃地方拠点都市地域整備推進協議会、可茂広域行政事務組合における事業や、可児御嵩介護認定審査会などにより広域連携を進めており、今後も連携強化を図る方針である。

<協働の実績等> —